

【大手饅頭 伊部屋】 雄町工場

伝統ある銘菓が選んだユニフォームレンタル



白 × ライトブルーの爽やかな配色で清潔感のあるユニフォーム。
体毛落下防止のインナーメッシュには体にフィットしやすい平ゴムを使用している。



POINT

・導入のきっかけ

工場統括責任者が徹底した衛生管理を追求したところ、レンタルシステムにいきついた。

・デザイン

ファスナーからインナーに使うゴムにいたるまで、従業員が快適に働ける機能性を求めて特注。

・なぜサニクリーン？

厳しい要望でもきちんと話を聞いてくれる。担当者の人間性が良くて取引が続いている。

**徹底した衛生管理に欠かせない
ユニフォームレンタル。
従業員が快適に働ける一着を求めて。**

日本でいちばん晴れの日が多い岡山県。この自然豊かな土地で生まれ180年もの歴史を誇る銘菓が「大手饅頭 伊部屋」の「大手まんちゅう」だ。基本的に「今日生産した製品は今日中に販売する」という理念のもと、銘菓だからこそ品質管理を徹底している。

「食品を扱う会社として最も気をつけなくてはならないのが、衛生面での管理なんです。これは責任であり、誇りとしなくてはいけないでしょう。そう語るのは、雄町工場統括責任者の小林さん。徹底した衛生管理を行うおとするのなら、ユニフォームレンタルは欠かせない」と言う。会社として一定のクオリティを保つためにも、ユニフォームを一定基準でクリーニングしてくれる、レンタルシステムが適していると小林さんは考えている。

実は「大手饅頭 伊部屋」のユニフォームは特注品。働く人が快適に、そしてきちんと衛生管理が保たれるユニフォームの形を、小林さん、従業員、サニクリーンと何度も話し合った。「まずファスナー部分は、かみ込まないように工夫してもらいました。それからインナーにある体毛落下防止部分は、丸ゴムから平ゴムに変えてもらったんです。平ゴムの採用でゴムが腕にくい込みにくくなったし、個人調節も少しはできるようにになりました。入社と同時に、一人ひとりのサイズを測って、なるべくピッタリしたものを使ってもらいたいと思っていました。飽を練る作業や饅頭を蒸す作業は、どうしても暑い涼しくするにも限界があるし、せめて快適に働いてもらいたいですからね」。

小林さんの話からは、衛生管理だけでなく、従業員への思いやりも感じる。ほかに、女性の長い髪もスッポリ収まるようにと、帽子の襟足部分を従来品より長く伸ばしたり、下着が透けないようにとの配慮から、ズボンの色をホワイトからブルーに変えたりと、ユニフォームへの注文をたくさん出したという。サンプルができるとその都度、従業員に実際に着てもらい、感想や意見を集約。今のユニフォームが完成したのだ。

食品工場

【大手饅頭 伊部屋】 雄町工場

<https://www.ohtemanjyu.co.jp>
岡山県岡山市中区雄町 201-1
TEL. 086-279-3688



**衛生問題に対する消費者の厳しい目。
緊張感を持って衛生管理に
取り組まなければならない。**

サニクリーンのユニフォームレンタル導入のきっかけは、工場統括責任者になった小林さんだった。「これからの時代は衛生管理をしっかりやっていかなくてはいいかな」と思っていた矢先、マットをレンタルしているサニクリーンがユニフォームも扱っていると知ったんです。サニクリーンには厳しい要望を出すんだけど、きっちり話を聞いてくれるんですね。できる限りのことはやってくれているんだらうって思っていますよ。取引しているのはコストだけじゃありません。結局は人間ですから。これからも、どんな要望を出していくつもりです」と小林さん。

最近では衛生問題に対する消費者の目が厳しくなっている。こんな時代だからこそ、食品工場とユニフォームレンタル会社は、お互いに緊張感を持って、衛生管理に取り組まなければならないと小林さんは言う。

「たとえば、異物の混入事故が発生したその原因が作業服であったとすると、こちらとしては当然、管理しているサニクリーンさんの責任を追及しますよね。でも、お客さまからのクレームは当社が対応しなくてはいいじゃない。当社の「大手まんちゅう」の信頼が損なわれてしまう。もちろん、こういったトラブルが起こってはダメなんだけど、万が一の時に備えて、迅速な対応ができ、原因究明、是正、予防対策ができる体制づくりをサニクリーンさんにはしっかりとやってもらいたいですね」。